

平成 27 年 1 月

受益者の皆さまへ

三菱UFJ投信株式会社

「米ドル建て担保付貸付債権オープン<為替ヘッジあり>（3ヵ月決算型）
（愛称：守護神）」の繰上償還（予定）のお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社の投資信託に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、受益者の皆さまにご投資いただいております「米ドル建て担保付貸付債権オープン<為替ヘッジあり>（3ヵ月決算型）（愛称：守護神）」は、平成 27 年 3 月 18 日（水）をもちまして、繰上償還を実施させていただく予定です。この繰上償還につきましては、「投資信託及び投資法人に関する法律」の規定に従い、書面による決議をもって実施いたします。つきましては、本書面および「書面決議参考書類」をお読みいただき、繰上償還に関する決議の賛否および必要事項を、同封の「議決権行使書面」にご記入の上、弊社までお送りいただきますようお願い申し上げます。何卒ご理解を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

なお、「守護神」はインベスコ・シニア・セキュアード・マネジメント・インク（以下、インベスコ NY）が運用する外国投資法人（以下、外投）を通じて、米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資を行い、利子収益の確保を目指すファンドとして、平成 26 年 1 月 8 日に設定されました。また、弊社は「守護神」について、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社に運用を委託しております。

敬具

1. 「守護神」の運用の状況について

(1) 総括

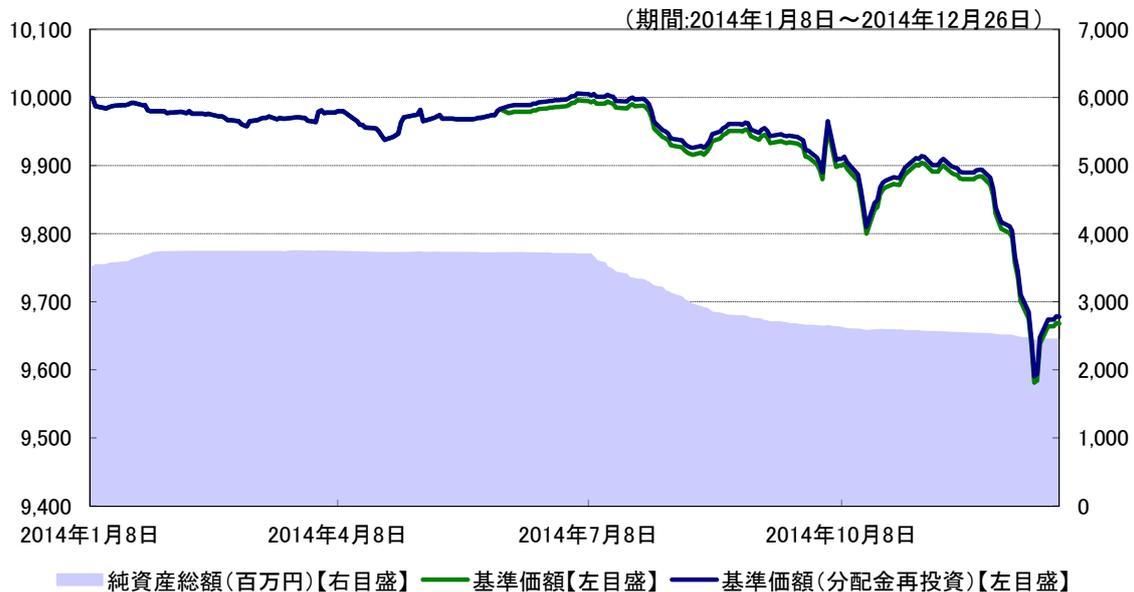
「守護神」の設定来、バンクローン市況はインカム収益の着実な積み上がりがあったものの、平成26年7月以降のクレジット市況悪化の影響で価格は大きく下落しました。特にリスク回避傾向が急速に強まるなか、外投で重点的に投資していた流動性の高い銘柄中心にパフォーマンスが悪化しました。このため、「守護神」の基準価額（分配金再投資）は低迷し、12月26日時点で9,677円と設定時を下回る水準となっております。

(2) パフォーマンス低迷の要因

パフォーマンス低迷の主な要因は以下の通りです。

- ① 平成26年1月以降、アルゼンチンペソ急落やウクライナ情勢に対する懸念の高まりや、米国での早期利上げ観測の後退を受け、バンクローン市場は流動性の高い銘柄中心に上値の重い展開となり、外投では流動性に配慮した銘柄選択をしていたため、パフォーマンスは伸び悩む展開となりました。
- ② 7月中旬以降の下落局面では、高流動性銘柄が相対的に売られる傾向にあり、外投では流動性に配慮した銘柄選択をしていたため、市況悪化の影響を強く受けました。
- ③ 10月には、インベスコ NY において、バンクローン市場の変動性が高まる懸念があること、運用残高の大幅な減少や解約傾向の継続等を勘案し流動性確保が必要と考えたことから、バンクローン組入比率を引き下げました。その結果、10月中旬から11月下旬にかけての市場反発について行けなかったこともパフォーマンスに影響しました。
- ④ 12月以降では、外投においてエネルギーセクターの配分を市場対比で多めとしていたなか、原油価格の下落を受けて同セクターを中心としたバンクローンの価格が下落したこと等から、市況悪化の影響を大きく受けました。

基準価額の推移



- ・ 基準価額、基準価額（分配金再投資）は設定日を 10,000 として指数化しています。
- ・ 基準価額および基準価額（分配金再投資）は、信託報酬控除後の値です。
- ・ 基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。

2. 「守護神」の繰上償還について

- 12月26日現在、「守護神」の受益権口数は、約25.3億口と任意の繰上償還条項である30億口を下回っております。また、「守護神」の純資産総額も、約24億円となっております。
- このように純資産総額が減少したため、「守護神」のポートフォリオの銘柄分散が十分に行えない状況となっております。また、今後も純資産総額の減少が続いた場合、ポートフォリオのより一層の流動性に重視した運営を行う必要から、「守護神」の利子収益を十分に確保することができなくなる可能性があります。
- 上記状況から、今後、「守護神」におきまして、目論見書記載の商品性維持が困難となることが想定されます。また現在の運用残高では、十分な利子収益の積み上げが困難な状況が続くと考えております。
- 以上の点から、弊社では、「守護神」に関しまして、繰上償還の手続きに入ることが、受益者の皆さまの利益に資すると判断し、以下の日程にて、償還手続きに入らせていただきたく、ご案内申し上げます。

3. 繰上償還手続きについて

- 外投で保有するバンクローンの売却につきましては、バンクローンの流動性や株式や債券と比較して決済に時間を要するという特殊性に鑑み、上記手続きにおきまして、バンクローンの組入比率を引き下げる可能性がございますので、ご注意ください。
- なお、繰上償還にあたっては、以下の日程をご参照ください。

4. 繰上償還に係る書面決議の日程および手続き

(1) 今後の日程

①議決権行使書面受付期限	<u>平成27年2月25日(水)の弊社到着分までを有効とさせていただきます。</u>
② 書面による決議の日 (繰上償還の可否が決定される日)	平成27年2月26日(木)
③ 繰上償還予定日	平成27年3月18日(水)

(2) 書面決議の手続き

本書面による議決権の行使の権利者は、平成27年1月19日(月)時点の受益者さま及び平成27年1月16日(金)の購入申込者さまを対象としております。

なお、本決議におきまして議決権を行使されない場合(議決権行使書面を返送いただかない場合)は賛成するものとさせていただきます。

(3) 繰上償還の実施

本決議は、議決権口数の3分の2以上の賛成をもって可決されます。その場合、予定通り平成27年3月18日(水)をもって本件ファンドを繰上償還します。償還金は繰上償還後、速やかにお取引の販売会社よりお支払いする予定です。詳しくは、お取引の販売会社にご確認ください。

また、上記の議決権口数による賛成を得られず本決議が否決された場合は、本件ファンドの繰上償還は行いません。この場合、その旨を本決議後、速やかに受益者の皆さまにお知らせいたします。

(4) 繰上償還決定から償還までの運用について

繰上償還決定から償還まで基準価額は変動いたしますが、償還準備のため組み入れ有価証券等を売却すること等により、償還までの期間においては運用の基本方針に沿った運用ができなくなることがある点にご留意ください。

5. 書面決議の方法

本状に同封しました「議決権行使書面」に本件ファンドの繰上償還について賛成または反対される旨等をご記入の上、平成27年2月25日（水）までに以下の宛先にご郵送下さい。平成27年2月25日（水）弊社到着分までを有効とさせていただきます。なお、本決議におきまして議決権を行使されない場合（議決権行使書面を返送いただかない場合）は賛成するものとさせていただきます。

【宛先】〒100-8212 東京都千代田区丸の内1-4-5

三菱UFJ投信株式会社 営業企画推進部 繰上償還担当宛

【ご注意事項】

同一の受益者さまが、重複して議決権を行使された場合で、議決権の行使の内容が異なるときは、すべての議決権に関して無効とさせていただきますのでご了承ください。

議案についての賛否を記載する欄に記載がない議決権行使書面をご提出された場合は、賛成するものとさせていただきます。

※ この議決権行使書面にて知りえた個人情報、「投資信託及び投資法人に関する法律」第17条および第18条、第20条に規定する書面による決議を行うために利用し、他の目的には使用しません。また、取得した個人情報は委託会社（弊社）および販売会社において共有いたします。

以上

このお知らせに関するお問い合わせ先：三菱UFJ投信株式会社
コールセンター 0120-548066（土日祝日を除く9：00～17：00）